

Q ながめ余興場及びながめ公園整備計画の推進は
A 全国芝居小屋会議の誘致や高津戸峡、要害山など、一体的な整備をしたい

椎名祐司

問 現在、通常学級に在籍し、支援を必要とする児童生徒の現状は。

教育部長 教育支援の対象としての児童生徒は、年々増加し、令和2年度から3年間で約2倍という状況で、学習面や行動面で著しい困難を示す、発達障害の可能性のある児童生徒は増加している。

問 市内小中学校における特別支援学級及び通級による指導体制の現状は。

教育部長 通級指導教室は、笠懸小学校のほかに、令和3年度は大間々南小学校、令和4年度は笠懸西小学校にも開設し、中学生も指導が受けられる状況を整備した。

問 みどりっ子こ相談会の概要は。

保健福祉部長 平成28

年度から、5歳児の保護者を対象に、子どもの心身の発達状況や保護者の心配事などを確認するため、子どもの行動に関するアンケートを実施している。アンケート結果により、保護者への相談会を行い、臨床心理士や相談支援専門医、専門アドバイザー、学校教員、保健師等の専門職が、子供の力を伸ばすためには、どのように関わると良いのかなどをアドバイスする。

椎名 障がい児支援として、当該保護者の皆さんと丁寧な話し合いができる場の提供とサポート体制の充実をしてほしい。

問 大間々博物館に隣接する空き店舗などを取得し、まちなか交流館と一体的に活用する考えは。

教育部長 大間々博物館は今後も保存活用し、後世に残したい。大間々博物館とまちなか交流館の間に私道があり、この空き店舗の土地を活用できれば、博物館にとって使い勝手は向上

し、連携した取り組みも期待できるが、庁内関連部署と調査研究していく。

椎名 岩宿博物館を含めた、全体的な整備計画を推進してほしい。

問 創建100周年に向けて、ながめ余興場及びながめ公園整備計画推進についての考えは。

市長 ながめ余興場は、景観重要建造物に位置づけるとともに、文化庁の近代化遺産に登録ができるよう保存につとめたい。今後、芝居小屋の魅力を全国にアピールしていくため、全国芝居小屋会議の誘致や高津戸峡、要害山などの周辺資源の活用と合わせて、一体的な整備ができるようにしていきたい。